

「天文学セミナー@ 6 セメ」 (毎週木曜 13:30～, 場所 832)

担当者情報

名前：田中幹人

所属/職：宇宙地球物理学科 天文学コース GCOE 助教

専門：銀河考古学

居室：804

メール：mikito@astr.tohoku.ac.jp

電話：022-795-6608

ゼミとは...

これまでの講義の形式と決定的に異なるところは、個人目標だけでなく、グループの目標が課せられるところです。ゼミを進めるために重要なことは、他人と知識を共有し、議論をすることです。今後、みなさんが4年生、大学院生、社会人と進むにつれて、重要な仕事のほとんどがゼミ形式で進みますので、今から慣れておきましょう。

本ゼミのキーワード

「観測」「銀河（近傍が主）」

目的

- ・ 仕事（研究など）で英語の文章が扱える。
- ・ 仕事（研究、発表会、面接など）のプレゼンができる。

目標

- ・ 英語になれる。
→ゼミ最終回で、天文の科学論文を紹介できる。（各自の興味ある論文を ADS から調達）
- ・ プレゼンになれる。
→要点をまとめて、他人に伝えられるようになる。
「テーマ」と「ロジック」を大切にし、資料作成・発表を工夫できる。
- ・ ゼミを進めるという同じミッションを持つ仲間同士、ともに協力し合える。

(注)

- ・ 細かな物理・天文の知識習得がゴールではないので、あくまで英語の文章を読んで、天文用語に慣れて、要点をロジカルに伝えられるようになってください。
- ・ 一人一人英語力は違うと思うので、ボーダーはクリアしてもらった上で、ゼミを通して「どのくらい成長しているか」というところも見ます。

使用する教科書

みんなが読みたい本を読みましょう（何冊かサンプルは用意しています）。

例：

(1) Galactic Astronomy, (2) **Galaxies in the Universe (2010年度)**, (3) The Andromeda Galaxy,
(4) The Galaxies of the Local Group, (5) Galaxies and Cosmology, (6) Observing the Universe,
(7) The Structure & Evolution of Galaxies, (8) Handbook of CCD Astronomy, (9) Astronomical Spectroscopy, など
→ページ数は本によって違うので、読むべき章は臨機応変に変更していきます。

教官メモ：来年度は系外惑星関係の本も用意する。

分担方法

1つの章を参加人数で分担してください。

一回で1章分進むことが目標（二時間くらいを目安に）。

準備

発表資料準備（必須）

他人が見ても分かりやすい、また後で見返しても分かりやすい資料を作りましょう。

資料の構成に関する一例（ゼミの様子を見ながら工夫していきます）

1. タイトル
2. テーマ（一番重要なこと）
3. テーマを説明するロジック
4. サブテーマ（本題を補足的に説明する内容）
5. サブテーマを説明するロジック

*余力があれば、

ゼミ中に関連論文の紹介をしても可能です。歓迎します。

最後に...

成長したいと思っている人には、こちらも全力でサポートします。